

詩と音楽の交感

フランス詩と歌曲のタベ

詩と音楽の解説を交えつつ...

2019.10.9.(水)

START 17:30

16:45(開場)

入場無料
(事前予約不要)

会場

学習院創立百周年記念会館
小講堂(3F)

🎵 出演者

ピアノ 野平一郎

バリトン 鎌田直純

ソプラノ 駒井ゆり子

詩解説 吉田加南子

中山慎太郎

*Voici des fruits, des fleurs, des feuilles et des branches
Et puis voici mon cœur qui ne bat que pour vous.*

プログラム

第1部:さまざまなアプローチ - 聞きくらべ

1. 詩: シャルル・ドルレアン

「ロンデル LXIII」《Rondel LXIII》

・クロード・ドビュッシー
「時は外套を脱ぎさった」
《Le temps a laissé son manteau》

・デオダ・ド・セヴラック
「春の再来」《Renouveau》

2. 詩: ポール・ヴェルレーヌ

「グリーン」《Green》(『言葉なき恋歌』)

・ガブリエル・フォーレ
・クロード・ドビュッシー
・アンドレ・カプレ

3. 詩: ポール・ヴェルレーヌ

「それは物憂い恍惚……」
《c'est l'extase langoureuse …》

・ガブリエル・フォーレ
・クロード・ドビュッシー
・サン＝サーンス
「野をわたる風」
《Le vent dans la plaine》

第2部:コクトーと音楽家たち

1. エリック・サティ

「踊り子」《Danseuse》

2. アルチュール・オネゲル

「言い回し」《Locutions》

3. ダリウス・ミヨー

「モンマルトルの祭」《Fête de Montmartre》

4. ジョルジュ・オーリック

「マリー・ローランサン」《Marie Laurencin》
「エリック・サティへのオマージュ」
《Hommage à Eric Satie》

5. フランシス・プーランク

「モンテ・カルロの女」
《La dame de Monte Carlo》

- ※ 曲目が変更になる場合がございます。
- ※ 当日は詩の原文・翻訳をお渡しいたします。



出演者プロフィール

野平一郎 (ピアノ)

1953年生まれ。東京藝術大学、同大学院修士課程作曲科を修了後、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に学ぶ。作曲、ピアノ、指揮、プロデューズ、教育などの多方面にわたる活動を行う。ピアニストとしては内外の主要オーケストラにソリストとして出演する一方、多くの国際的な名手たちと共演し、室内楽奏者としても活躍。古典から現代までレパートリーは幅広い。100曲以上に及ぶ作品の中には、フランス文化庁、アンサンブル・アンテルコンタンポラン、IRCAM、ベルリン・ドイツ交響楽団、モントリオール交響楽団、ヴェネツィア・ビエンナーレ、国立劇場その他からの委嘱作品がある。

第35回サントリー音楽賞、第55回芸術選奨文部科学大臣賞、第44回、第61回尾高賞などを受賞。12年紫綬褒章、18年日本芸術院賞を受賞。現在、東京藝術大学作曲科教授。静岡音楽館AOI芸術監督。日本フォーレ協会会長。

鎌田直純 (バリトン)

東京藝術大学卒業、同大学院修了。大学院在学中に『ペレアスとメリザンド』のペレアス役に抜擢。大学院修了後1982年渡欧。フランススコ・ヴィニャス国際コンクール(バルセロナ)他、ヨーロッパの声楽コンクールに入賞。パリ・エコール・ノルマル音楽院首席修了。パリを中心に演奏活動後1992年帰国。オペラ『ロミオとジュリエット』、『ホフマン物語』など多数の舞台に出演。ジャン・フルネ指揮による東京都響定期『ペレアスとメリザンド』のペレアス、フォーレ『レクイエム』のCDでバリトン・ソロを歌う。2016年は7月にフランスのラングドック地方でのセヴラック音楽祭に出演。二期会、日本フォーレ協会会員。東京学芸大学教授を経て、現在小田原短期大学教授。



駒井ゆり子 (ソプラノ)

東京音楽大学、同大学院修了。二期会オペラ研修所を優秀賞、奨励賞を得て修了。パリ・エコール・ノルマル音楽院にてコンサーティストディプロムを声楽と室内楽で審査員満場一致及び称賛付きを得て取得し、首席で修了。

全日本学生音楽コンクール第2位、長久手国際オペラ声楽コンクール第3位、モーツァルトコンクール第2位、東京音楽コンクール第2位、国際ベルヴェデーレオペラコンクール日本代表及び盛岡賞、ヴェローナオペラコンクール日本代表、国際フランス声楽コンクール特別賞等、内外のコンクールで上位入賞を果たし、トゥールーズ国際フランス歌曲コンクールでは最優秀ピアノ声楽デュオ賞を受賞。

文化庁海外派遣研修員(パリ)。二期会フランス歌曲研究会運営委員。日本フォーレ協会会員。桐朋学園大学講師。二期会会員。



吉田加南子 (詩解説)

詩人、フランス文学者、学習院大学名誉教授。著書に『言葉の向こうから』(みすず書房)、『幸福論』(思潮社)、詩集『定本 聞』(思潮社/高見順賞)、『吉田加南子詩集』(思潮社)など。翻訳・編訳に『デュープーシェ詩集』(思潮社)、サガン『サラ・ベルナル』(河出書房新社)、ソニア・リキエル『祝祭』(青土社)、『愛のフランス詩集一作品に書きたい言葉』(天来書院)、『フランス詩のひとつとき』(白水社)、共訳に『フランス詩大系』(青土社)など。

中山慎太郎 (詩解説)

学習院大学、拓殖大学、朝日カルチャーセンター講師。学習院大学人文科学研究科フランス文学専攻博士課程単位取得退学、リヨン第二大学文学芸術博士(『Les figures du sujet lyrique dans la poésie contemporaine - Jacques Dupin, Philippe Jaccottet et Jacques Réda, 2016』)。

フランス詩と歌曲の夕べ

【主催】 学習院大学文学部フランス語圏文化学科
【共催】 学習院大学文学会

問い合わせ先

学習院大学文学部フランス語圏文化学科

TEL: 03-5992-1099

URL: <http://fr-gakushuin.jp/>

Twitter: fr_gakushuin

